



なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

やさしい雰囲気のある学校に

校長 山崎 薫

新年明けましておめでとうございます。コロナ感染においては、オミクロン株の感染拡大も心配される中での年明けとなりました。教育活動における感染対策は、一部緩和されたものもありますが継続を求められているものもあり、まだ慎重な姿勢です。そのような状況であっても、子どもたちは基本的な感染対策をしっかりと守って生活しており有難いです。ご家庭のご協力も大きいことに感謝申し上げます。

さて昨年11月末に、学校保健委員会の取組として、保健室前に「みつけよう！中和田南小のよいところ」という掲示物が貼り出されました。初めは大きなハートが書かれた模造紙が一枚貼られているだけでした。その後、各クラスで子どもたちが「よいところ」を書いた小さなハート型の一言メッセージを書いていきました。書いたものは大きなハートに貼り付けていきました。やがて、メッセージが増えたため、大きなハートは二枚になりました。そして、冬休みに入るころには、二枚でもはみ出すくらい多くのメッセージで溢れました。

そこには、子どもたちが感じている本校のよさが記されていました。一つ一つが心温まるものでした。そのメッセージの中で使われた単語の中で多いと感じたのが「やさしい」でした。「やさしい人がいっぱいいる。友だちがやさしい。先生みんながやさしい。」など、校内全体がやさしい雰囲気だと感じている子どもが多いのではないかと思います。嬉しくなりました。

校内の雰囲気を作るのに職員の雰囲気は大切です。私は全職員に、指導の際は「褒める・認める・励ます」を基本としてほしいことを求めています。ただし、子どもたちにそのように接するためには、事前の教材研究や準備をしっかりと行い、めあてや目標をわかりやすく示すことができることが前提であることも伝えています。子どもたちはゴールが見えたりやり方がわかったりすれば意欲は高まり、主体性が増します。迷ったときに尋ねても、ゴールに向かうための具体的な支援を受けることができます。授業中や校内生活での子どもの疑問や不安を解消するような教師や職員の指導に対し、子どもたちが「やさしい」という言葉で表現しているのであれば、これ以上の喜びはありません。

今年度の学校だより4月号巻頭言の文末で、私は「一年後、15クラスが和やかに年度末を迎え、子どもたちが楽しかったと思えるような学校になるよう全職員で取り組んでまいります。」とつづりました。年が明け、年度末も間もなくです。4月に申し上げたことが実現できるよう、励んで参ります。どうぞ、よろしく願いいたします。

